

## インターンシップ in 台湾

高級スーパー裕毛屋における愛媛フェアでの販売実習、  
セントラルキッチン(食研中心)での食品製造

### 丹原高生 台湾で販売実習



台湾のスーパーで販売実習をする  
丹原高生(同校提供)

西条市丹原町願連寺の丹原高校の生徒が9月中旬、台湾の高級スーパー「裕毛屋」などで販売研修に取り組んだ。買い物客に声をかけコミュニケーション能力を養うとともに、国際的な視野を広げた。

加工食品工場での就業体験も

同校は校内のハウスで栽培するアドウで農産物の生産工程に関する国際規格「グローバルGAP」の認証を受けた2018年から、裕毛屋にシャインマスカットを輸出し、現地で販売実習を行っている。今回は9月12日か

合って、工夫する力をつけることができた

と充実した表情を浮かべた。(清家康尊)

ら7日間の日程で生徒7人が参加した。13、14の両日は店舗が開いた愛媛フェアで、事前に覚えた台湾語のあいさつやボディランゲージを交え県産品をプロモーションした。2年連続で参加した園芸科学科3年の菅菜月さん(18)は「昨年は自分から来場者に話しかけることができなかつたが、今年ではできた」とし「卒業後は就職するので経験を生かしたい」と話した。販売実習後は裕毛屋の加工食品工場でのインターンシップ(就業体験)もあり、パンやクッキー、まんじゅうなどの製造を体験した。普通科3年の青野初音さん(17)は「生徒同士でもアドバイスし

台湾研修に7名の生徒が参加。

愛媛フェアでの販売活動では、事前研修で学んだ台湾語を駆使して、現地の人とコミュニケーションが深められ大盛況。食品工場では、現地従業員の方に指導をしていただきました。国際的視野、行動力が身に付きました。

台湾の産業、文化・歴史、現地の方と触れ合い、生徒の人生において、かけがえのない充実した研修となりました。